

1月は「いく」2月は「にげる」3月は「さる」とよく言われます。お正月からあつという間に2月になった気がします。1年で一番寒いと言われる大寒（1月21日）から節分（2月3日）を終えると、2月4日（木）は立春です。暦の上では春を迎えます。まだまだ寒い日が続きますが、三寒四温の時期の中で、子ども達は、学習のまとめに向け取り組んでいます。保護者の皆様や地域の方々におかれましては、引き続き、子ども達に励ましの声をかけていただき、ご支援くださいますようお願いいたします。

さて、今年、和附特が40周年を迎える年です。学校沿革史によると、昭和51年4月1日に和歌山大学教育学部附属養護学校として、「おく山（現在の附属小・中学校の地）」で、小学部児童28名、中学部生徒25名、教員11名の計64名で開校しました。現在の西小二里の地には、昭和52年7月に移転しています。以降、小学部111名、中学部227名、高等部316名の卒業生（平成26年度末現在）を送り出し、歴史を刻んできました。

開校当時から、職場見学、修学旅行や教育実習の実施、近畿附属養護学校研究会の開催など充実した学校生活の様子が伺えました。

附属養護学校開校時の思いを、当時の教員が、以下のように語っています。

「この道のいかに遠く、いかに険しいかを感じながら“おく山”にかけられた一本の橋を
私たちは、今後も変わらずに渡っていきたい。子どもの幸せの橋を。」

当時の子ども達に対する深い愛情と特別支援教育への熱い思いが伝わってきます。

今後もこれまでの素晴らしい取り組みや情熱を受け継ぐとともに、これからの取り組みを一層充実させていきたいものです。

なお、新しい年度に入り40周年のお祝いの会を開催できたらと思っています。

結びに、1月22日（金）の本校中間発表会では、県内特別支援学校や近隣の小・中学校はもとより、北は群馬県からもお越しいただき、多くの参加者を得て開催することができました。

今回は、「教科学習」を研究の柱として、子どもの「学び続ける力」を大切にしながら、伝え合い学び合う様子をご覧いただきました。来年度の本発表へ向けて、引き続き御助言等くだされば幸いに存じます。

副校長 井川勝利

◆保護者へのお知らせ

- ・2月7日（日）は、日曜参観日です。13時20分から15時頃の参観時間となります。ぜひ、家族おそろいでお越しください。
- ・2月10日（水）～15日（月）まで、和歌山県民文化会館で『第13回和歌山かがやき展』が開催されます。和歌山県内の小・中学校の特別支援学級や県立盲・ろう・特別支援学校に在籍する児童生徒の作品が多数展示されます。本校も出展します。機会があれば、ぜひお立ち寄りください。

◆2月の行事予定

1（月）漢字の博士試験	14（日）同窓会ボウリング大会
2（火）ビルメンキャラバン（窓拭き作業）（高） （育）広報部会	15（月）音楽発表会
3（水）選択芸術美術館見学（高・美術）	18（木）卒業を祝う会（高）
4（木）熊野古道ウォーク（高S）	19（金）（育）高等部会
5（金）（育）役員会、高S新入生医学面接	23（火）卒業式の体育館準備
7（日）日曜参観、もちつき（中）	25（木）お別れ遠足（小）、卒業旅行（高3）
8（月）振替休業	26（金）交流給食（小・高）、お別れ遠足（中）



◆2月の保健行事

体重測定・・・1日（月）小中学部、2日（火）高等部Fコース、3日（水）高等部Sコース

